

## Risk フレームの相違

### ——日中英 3 言語の対照から——

一木 有海

#### 1. はじめに

Ohara (2009) は Fillmore and Atkins (1992) が調査を開始した英語の risk フレームをもとに、日本語「賭ける」「危険を冒す」「あえて」を調査し日英 2 言語の対応関係を検討したうえで、「賭ける」のフレームは risk フレームとすべてが重なるわけではないことを明らかにした。本稿ではそれをふまえ、“risk”に対応する日本語訳として他の辞書に挙げられている、「懸ける」と「～を覚悟で…する」についても調査を加えたい。「賭ける」と「懸ける」は異なるフレームを喚起すること、また「～を覚悟で…する」のフレームを示して日本語における risk フレームを深めたうえで、次に英単語 “risk” の訳語として英中事典に記載されている中国語 “冒…的危険” と “冒险干”、“赌”、“拼” のフレームを検討する。とくに、“冒 危険” と “赌” はそれぞれ日本語の「危険を冒す」、「賭ける」と同じ漢字を用いており、ともに英単語 “risk” の訳語であるが、必ずしもフレームが一致しないことを明らかにする。最終的に、3 言語の risk フレームを対照させて関係性を考察することによって、“risk” とその日本語訳語、中国語訳語の相違点を述べ、各訳語が完全に一致するとは限らないことを確認する。

#### 2. Risk フレームの英日対照

##### 2.1. 先行研究

Ohara (2009) では、英単語 “risk” の日本語訳にあたる語を分析し、日本語の表現が “risk” と同じフレームの語彙単位で定義できることを調査している。加えて、日本語の動詞「賭ける」が想起するフレームを考察して “risk” と対照することで、“risk” と「賭ける」の相違点を明らかにしている。<sup>1</sup>まず、risk フレームのコアとなるフレーム要素は ACTION、ASSET、HARM、PROTAGONIST の 4 つとされている。ACTION とは、シテの行動であり、ここでは例えば、「ジャングルへ旅に行く」、「闇の中で泳ぐ」など HARM の危険性を伴う行動を指す。ASSET とは、健康や収入など、シテの価値ある所有物のことで、意味上危険に脅かされる。HARM は、ウイルスへの感染、失業といった、

---

<sup>1</sup> Ohara, Kyoko Hirose. (2009). “Frame-based contrastive lexical semantics in Japanese FrameNet: The case of risk and kakeru”

想定される好ましくない結果である。PROTAGONIST は、その HARM が起こりそうな ACTION をする人のことを指す。“risk” はこれらを要素とする 3 つのフレームを喚起する。1 つ目は、PROTAGONIST が ASSET を危険にさらす Jeopardizing frame である。2 つ目は、PROTAGONIST が HARM を招く Incurring frame、最後に、PROTAGONIST があえて ACTION を起こす Daring frame である。

上記 3 つのフレームに代表的な日本語訳を当てはめると、Jeopardizing frame の risk には「賭ける」、「賭す」、「危険にさらす」、Incurring frame のときは「危険を冒す」、Daring frame には「あえて」がそれぞれ考えられる。そこで「賭ける」について分析してみると、Jeopardizing frame の「賭ける」と Jeopardizing frame の “risk” は対応することが分かる。なぜなら、どちらも、PROTAGONIST、ASSET というコアのフレーム要素に加え、BENEFICIARY、PURPOSE、MOTIVATION といった要素を伴うことができるからだ。一方、「危険を冒す」はどのフレームの日本語訳にもなり得る。Jeopardizing frame のときは、「命」や「生命」のどちらかと共起する特徴がある。「危険を冒して～する」となり ACTION がつづくときは、Daring frame となる。

最後に、「賭ける」の意味的ネットワークを示し、“risk” と真の同義語としてはどの程度かけ離れているのかを考察している。“risk” との共通点としては、PROTAGONIST が CHANCE に対して INVESTMENT を賭ける Betting frame を喚起する点である。対して、“risk” と異なる点としては、PROTAGONIST が時間や労力などの ASSET をかけて、意味のある目標を達成するためになんらかの ACTIVITY をおこなう Devotion frame と、PROTAGONIST が彼らの BENEFIT のために MEANS\_ACTION を必要とする Reliance frame の 2 つが想起される点であった。

“risk” に対応するいくつかの日本語は、それぞれ “risk” に関する場面 1 つ 1 つに対応するかたちとなっていたが、「危険を冒す」は “risk” のすべての状況に当てはまった。また、多義的な動詞「賭ける」を 4 つのフレームでとらえたところ、“risk” のフレームと直結するのは 1 つのみであった。

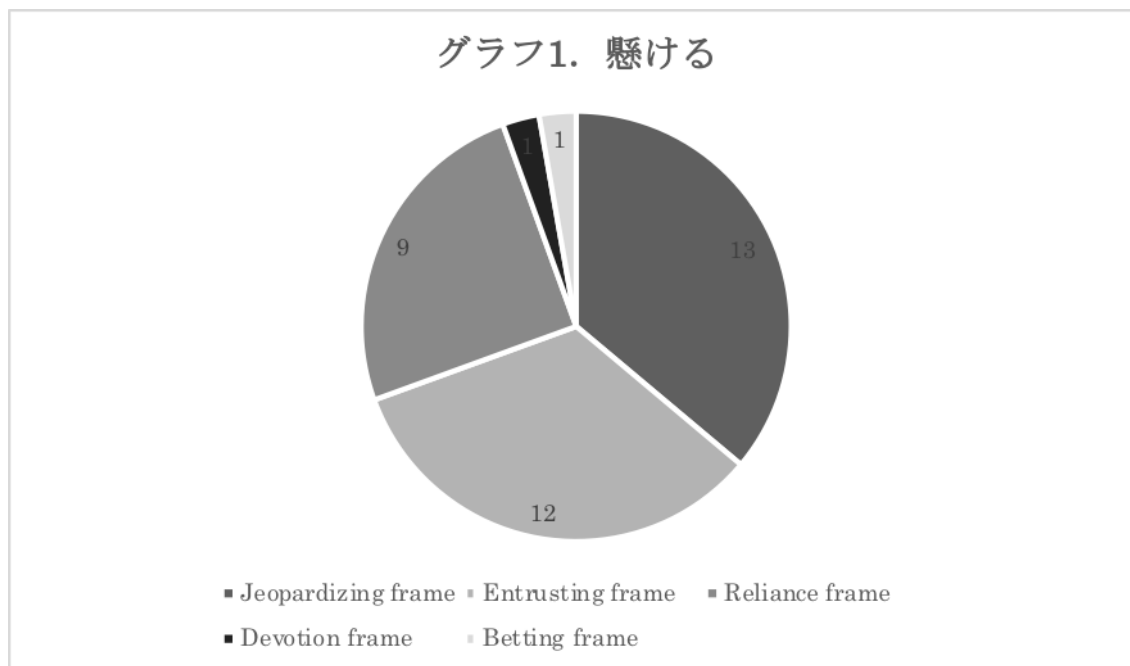
## 2.2. 「懸ける」の調査

先行研究では、“risk” の訳語として上記の 5 語を挙げていたが、『新英和大辞典』（研究社、2002 年）で “risk” の項を見たところ、その 5 語のほかに、漢字違いの「懸ける」、また「～を覚悟で…する」という訳語が掲載されていた。加えて、毎日新聞の校閲グループが運営するウェブサイト「毎日ことば」<sup>2</sup>2016 年 5 月の記事において、「賞金をかけて戦う」「人生をかける」など、勝者に与える場合や託す意味の「かける」は「懸ける」を使います。「賭ける」は「賭け事」「危険な賭け」などの場合です。」として、ゲラのサッカー欄見出

<sup>2</sup>毎日新聞・校閲グループが、漢字のクイズや、赤字ゲラの修正箇所公開を通し、日本語の話題を提供するウェブサイト。<http://www.mainichi-kotoba.jp/2016/05/blog-post.html> 2017 年 7 月 27 日閲覧

し「リオ切符賭け」を「懸け」に赤字で訂正している。「賭ける」と「懸ける」には違いがありそうだ。

そこで、「懸ける」と「賭ける」フレームの関係について述べていきたい。現代日本語書き言葉均衡コーパス少納言を用いて調査をおこなったところ、全体で 36 例収集でき、そのうちフレームの分布を調べた。既存のフレームに当てはまるものは、多い順に、Jeopardizing frame が 13 例、Reliance frame が 9 例、Devotion frame と Betting frame がともに 1 例であり、12 例を自作の Entrusting frame に規定した。(グラフ 1 参照)



以下、具体的に例文を分析する。まず、最も多い 13 例となった Jeopardizing frame は、“risk” の Jeopardizing frame と一致する。

### Jeopardizing frame

- (1)この城跡に、[地方豪族が PROTAGONIST] 時代の潮流の変化に [生き残りを ASSET] 懸ける 姿を思いながら南の丘陵の麓を覗う。
- (2)[多くの一族、郎党を養っていくために BENEFICIARY]、所領確保に[生命を ASSET]懸ける。

ここでの ASSET は、13 例すべてにおいて、「生命」「命」「生き残り」「身体」といった、人間の命にまつわる言葉であった。

次に文例数が多かったのは「賭ける」のフレームにあてはまらないものであった。何らかのものを夢や希望の対象とする意味を示すフレームで、Entrust frame と呼ぶことにした。コアとなるフレーム要素に、「甲子園」など試合の名前や、ドラマ、舞台、音楽といった芸術など、そこで成し遂げたい夢のある具体的な目標 AIM と、「想い」「意気込み」といった精神的な心持ち MIND の 2 つが含まれる。

### Entrust frame

- (3)[日本ハムのダルビッシュ有投手（22）が PROTAGONIST] [WBCに AIM] 懸ける [思い MIND] を初めて口にした。

AIM の部分に関して、例文 12 例はすべて「に」格をとっている。したがってこのフレームを喚起する形態は「PROTAGONIST が AIM 「に」「懸ける」 MIND」と定義できる可能性がある。

3 番目に、9 例の Reliance frame についてだが、これは「賭ける」にあって“risk”にないフレームであった。

### Reliance frame

- (4)豪栄道を気迫の攻めで寄り倒し、7勝7敗と[千秋楽に INTERMEDIARY] [勝ち越しを BENEFIT] 懸ける。  
 (5)当時映画興行はまだまだドル箱で、社内でも[テレビに INTERMEDIARY] 懸ける のは危険だという声が圧倒的だった。

最後に、上記に当てはまらない 2 例を挙げる。これらはいずれも「賭ける」に既存のフレームに当てはまるものである。

### Betting frame

- (6)[日産が PROTAGONIST] [社運を ASSET] 懸ける「リバイバルプラン」は、カルロス・ゴーン社長が経営の舵取りをするなか、…

### Devotion frame

- (7)[彰と美鈴は PROTAGONIST] [バスケットボールに ACTIVITY] 懸ける [青春 ASSET] の真っ只中にいた。

(7)の例文は、「賭ける」における典型的な Devotion frame のヴァリエーションであると言える。<sup>3</sup>

### 2.3. 「～を覚悟で…する」の調査

本項では、“risk”の日本語訳としてもう 1 つ挙げられる「～を覚悟で…する」のフレームについて述べていきたい。現代日本語書き言葉均衡コーパス少納言を用いて調査をおこなったところ、収集できた 66 例すべてが Incurring frame であった。ただし、「～を覚悟で…する」においての HARM は、死や失業といった重大な物事からポライトネス的な配慮のものまで内容が様々であった。

<sup>3</sup> 「賭ける」の Devotion frame は「[彼は PROTAGONIST] [青春を ASSET] [野球に ACTIVITY] かけた。」の形である。なお例文は Ohara (2009) 177 頁によった。

### Incurring frame

(8)[そこまで聞いて無いって！と思われている事 HARM] を覚悟で [書く ACTION] この気持ちも察してくださいませ。

(9)[ふざけてると思われるの HARM] を覚悟で、真面目に[質問 ACTION] したいと思います。

## 3. Risk フレームの英中対照

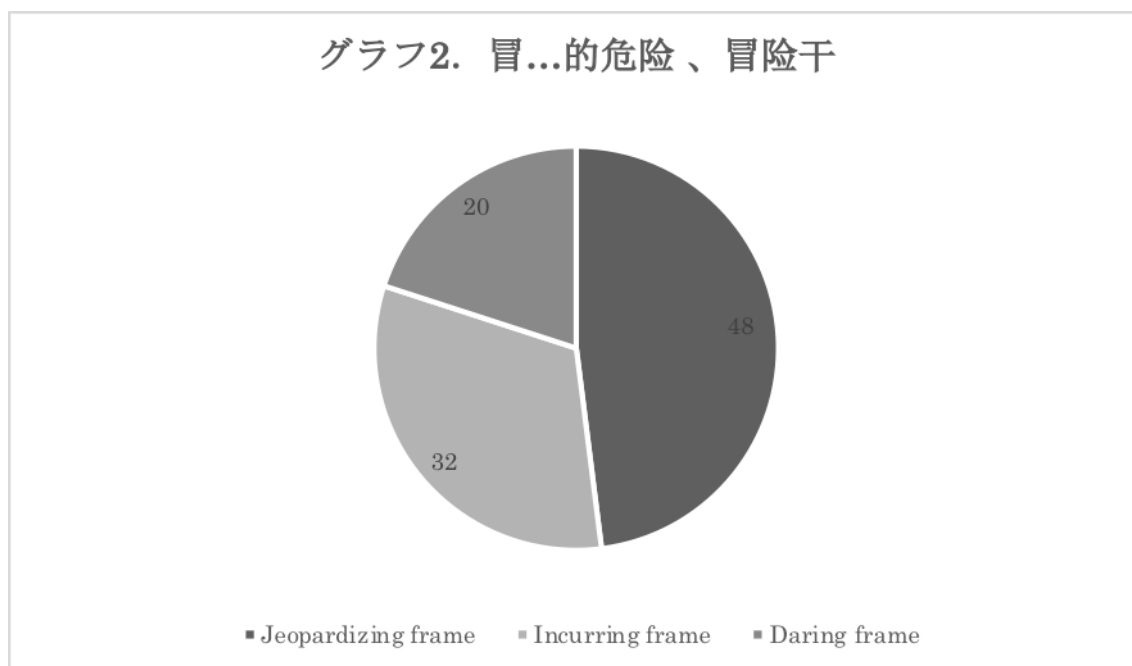
### 3.1. risk に対応する中国語

第3章では、“risk”の訳語になりうる中国語の語彙のフレームを検討し、risk フレームとの関係性について述べていきたい。まず、英中辞典で“risk”を検索し、動詞の項を見ると、『英華大辞典』には「冒…的危険、拼、賭（性命）one’s fortune [life]」と3語が挙げられていた。加えて、“賭”（賭ける）は目的語に“性命”（生命）をともなうとされていた。『新英漢詞典』には、「①冒…的危険 ~one’s life 冒生命危險 ②冒險干 ~the jump 冒險跳一下」と2つの例文が記載されていた。①の“…的”は日本語の助詞「…の」にあたり、②の“干”は英語“do”のように多様な動詞の代表として用いられることから、立項されている語はそれぞれ「①…の危険を冒す ②危険を冒して~する」の意味になり、2語をまとめて捉えても差し支えない。

上記でみたように、“冒…的危険”また“冒險+V”は日本語「危険を冒す（冒して V）」と、“賭”は日本語「賭ける」と漢字が共通している。フレームの相違点を調査することで日中同形語に対する研究にもつながるだろう。また、中国語独特の“拼”はどのようなフレームか検討することで risk フレームへの考察が深まる意義を有するといえるだろう。

### 3.2. “冒…的危険”と“冒險干”の調査

最初に、“冒…的危険”と“冒險干”の調査について述べていきたい。北京大学中国語学中心現代漢語語料庫（北京大学中国語学センター現代中国語コーパス）を使用し、2121 例中ランダムに 100 例を収集したところ、Jeopardizing frame が 48 例、Incurring frame が 32 例、Daring frame が 20 例であった。（グラフ 2 参照）



以下、具体的に例文を分析する。まず、半数近くを占めた Jeopardizing frame は、“risk” の Jeopardizing frame と一致する。

#### Jeopardizing frame

(10)[张、杨 PROTAGONIST] 决心 冒 [生命 ASSET] 危険  
 張と楊は 決心した 冒して 生命の 危険を  
 [逮捕 ACTION] 蒋介石  
 逮捕することを 蒋介石を  
 「張と楊は生命の危険を冒して蒋介石を逮捕することを決心した」

48 例中、46 例の ASSET は “生命” であった。

次の Incurring frame も Daring frame も、“risk” フレームと一致した。

#### Incurring frame

(11)[许多人 PROTAGONIST] 为了 享受 美味, 即便 冒着  
 多く的人是 ため 享受する 美味しさを たとえ 冒して  
 [中毒 HARM] 的 危険 也 要 去 体味 一下。  
 中毒 の 危険 でも ものだ 行く 味わいに ちょっと  
 「多く的人是美味しさを享受するために、たとえ中毒になる危険を冒してでもちょっと味わいに行くものだ。」

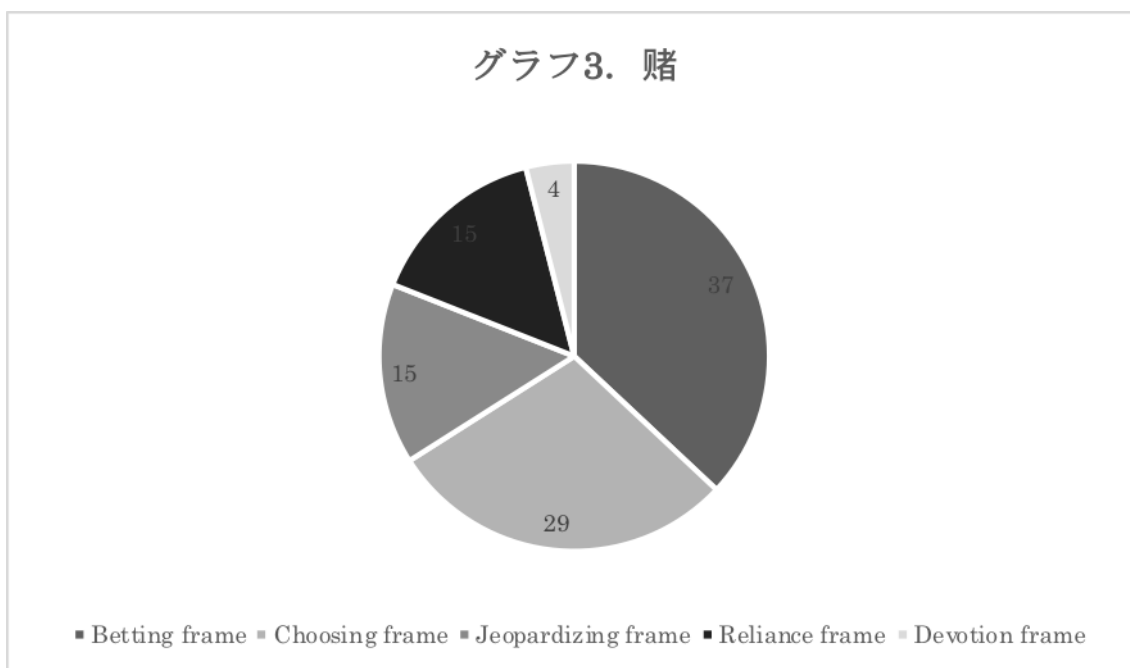
#### Daring frame

(12)[他 PROTAGONIST] 还 冒着 危险 [救 回 了 ACTION]  
 彼は それでも 冒して 危険を 救う 戻る ~した  
 我 方 的 侦察兵。  
 私 の 方 の 侦察兵を

「彼は危険を冒してでも私の方の偵察兵を救って戻った。」

### 3.3. 賭

つづいて、“賭”についての調査をおこなった。北京大学中国语言学中心現代漢語語料庫（北京大学中国語言語学センター現代中国語コーパス）を使用し、9455 例中ランダムに 100 例を収集したところ、5 つのフレームに分けられた。既存のフレームに当てはまるものは、多い順に、**Betting frame** が 37 例、**Jeopardizing frame** と **Reliance frame** がともに 15 例、**Devotion frame** が 4 例であり、29 例を自作の **Choosing frame** に規定した。（グラフ 3 参照）



以下、具体的に例文を分析する。まず、最も多い 37 例となった **Betting frame** は、日本語「賭ける」の **Betting frame** と一致する。

#### Betting frame

(13)[李書福 PROTAGONIST] 每次 都 把 [他 赚的 钱 ASSET]  
 李書福（人名）は 毎回 すべて ～を 彼のもうけた金  
 [“全放下” INVESTMENT], 賭 到 [一个 行业 CHANCE] 里。  
 すべて投げ出し、賭ける ～へ 1つの 商売 の中  
 「李書福はいつも彼のもうけた金をすべて投げ出し、ある商売へ賭ける。」

次に文例数が多かったのは「賭ける」のフレームには出てこないものであった。文脈として二者択一の選択が想定され、そのどちらかを選択する意を表すフレームで、**Choosing frame** と呼ぶことにした。コアとなるフレーム要素には、先にも述べたように二者択一の選択肢 **OPTION** が含まれる。

#### Choosing frame

(14)[索罗斯 PROTAGONIST] 賭 马克 和 日元 会 [升值 OPTION]。

ソロス（投資家の人名）賭ける マルク と 日本円 だろう 切り上げる  
「ソロスは、マルクと日本円は切り上げられるだろうと賭ける。」

3 番目に、15 例の Jeopardizing frame と Reliance frame についてだが、これは日本語「賭ける」のフレームと一致する。

### Jeopardizing frame

(15)但凡 拿 [我们的 生命 ASSET] 赌 的,  
～さえすれば ～を 私たちの 生命 賭ける の事  
一定 是 最 精彩 的。  
きっと ～だ 最も すばらしい 事  
「私たちの生命を賭けることさえすれば、それがきっと最もすばらしい事  
なのだ。」

### Reliance frame

(16)[最后二人 PROTAGONIST] 赌 起 [俄式决斗左轮枪 INTERMEDIARY],  
最後の 2 人は 賭ける 始める ロシア式決闘リボルバー銃  
塞米纳 里 奥 对 自己 脑袋 开了 一枪  
米倉庫 の中 奥 に対して 自分の 頭 打った 一発の銃弾  
「最後の 2 人は米倉庫の奥にあるロシア式決闘リボルバー銃にかけ、  
自分の頭に一発銃を撃った。」

最後に、用例数は少ないものの、Devotion frame も喚起することが分かった。

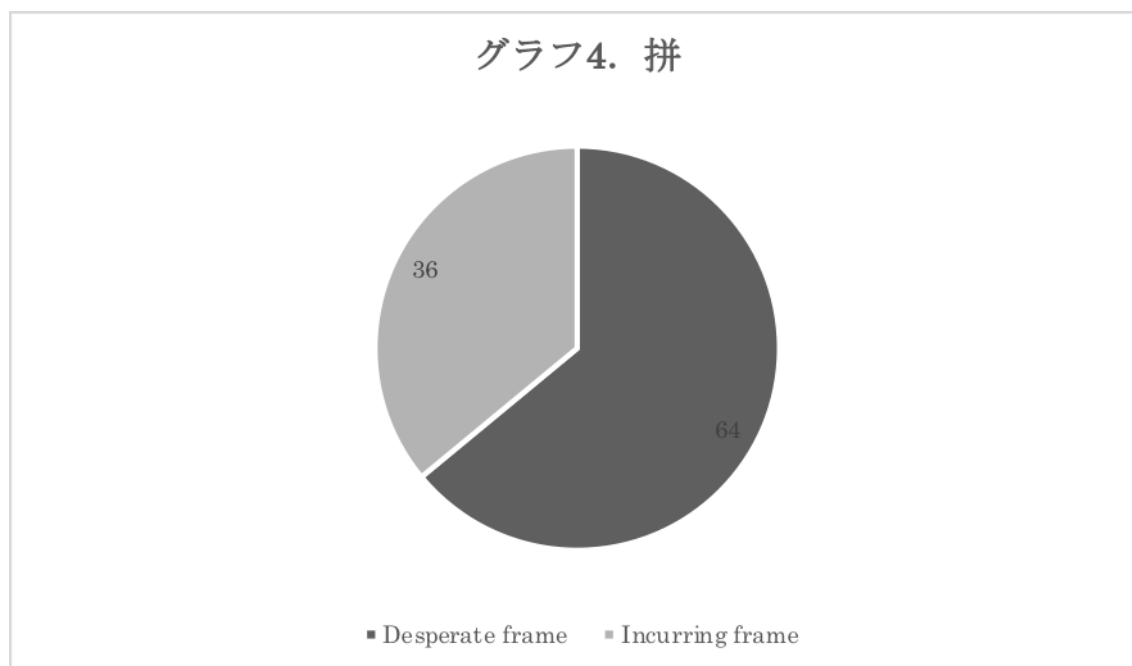
### Devotion frame

(17)[我 PROTAGONIST] 拿 [青春 ASSET] 赌 明天  
私は ～を 青春 賭ける 明日  
「私は青春を明日にかける」

## 3.4. 拼

最後に、“拼”についての調査をおこなった。北京大学中国语言学中心現代漢語語料庫（北京大学中国語言語学センター現代中国語コーパス）を使用し、18044 例中ランダムに 100 例を収集したところ、2 つのフレームに分けられた。既存のフレームに当てはまるものは、Incurring frame が 36 例であり、64 例を自作の Desperate frame に規定した。（グラフ 4 参照）





最も文例数が多かったのは「賭ける」や“risk”のフレームには出てこないものであった。何か好ましい事が想定される物事に対して必死に行動を起こす様子を表すフレームで、Desperate frame と呼ぶことにした。コアとなるフレーム要素には、行動をおこなう主体 PROTAGONIST、PROTAGONIST の大切なもの ASSET、行動 ACTION が含まれるが、既存の Jeopardizing frame のように ASSET が危険にさらされるとは限らない。また、PROTAGONIST は植物や無生物など人間でなくてもよい。その際、ASSET は比喩的に用いられる。加えて、Devotion frame のように「～に…をかける」という形式ではなく、「…をかけて～する」の形をとり、ASSET を捧げる意味は含まれない。

#### Desperate frame

(18)[公司 PROTAGONIST] 拵 [命 ASSET] [争奪 首位 ACTION]

会社は かけて 命を 争奪する 首位を

「会社は命をかけて首位を争奪する」

(19)[佛教, 道教 PROTAGONIST] 拵 [命 ASSET] [拍儒家的马屁 ACTION]

仏教と道教は かけて 命を 儒家のごまをする

「仏教と道教は命をかけて儒家のごまをする。」

(20)[这类 从 老树上 吹出来的 种子 PROTAGONIST] ,

その種類の ～から 老木 吹き出てきた 種子は、

拵 [命 ASSET] [在 垦地 ACTION] 。

かけて 命を ～している 開拓する

「その種類の老木から吹き出てきた種子は、命をかけて開拓している。」

ここでの ASSET はすべての例文において「命」であった。

もう 1 つのフレームは Incurring frame であり、これは “risk” のフレームと一致する。

Incurring frame

(21)[他们 PROTAGONIST] 必然 拼 [死 HARM] [反对 ACTION]  
 彼らは 必然的に かけて 死を 反対する  
 钢铁 的 自由貿易。  
 鉄鋼 の 自由貿易  
 「彼らは必然的に死を覚悟で鉄鋼の自由貿易に反対する。」

4. 3 言語の結果を対照して

4.1. 「賭ける」と「懸ける」

第 2 章での調査をふまえ、先行研究の結果と照らし合わせてみた。先行研究において、「賭ける」のフレームと “risk” フレームの相違点は以下のようにまとめられていた。(表 1 参照。なお表は先行研究をもとに筆者が作成したものである。)

表 1. risk と賭ける ○ (そのフレームを喚起する) / × (喚起しない)

	risk	賭ける
Jeopardizing frame	○	○
Betting frame	○	○
Incurring frame	○	×
Daring frame	○	×
Devotion frame	×	○
Reliance frame	×	○

ここに、今回調査した「懸ける」を追加すると次のようになる。(表 2 参照。)

表 2. risk と賭けると懸ける

	risk	賭ける	懸ける
Jeopardizing frame	○	○	○
Betting frame	○	○	○ (少ない)
Incurring frame	○	×	×
Daring frame	○	×	×
Devotion frame	×	○	○ (少ない)
Reliance frame	×	○	○
Entrusting frame	×	×	○

「懸ける」は “risk” よりも「賭ける」に近いことが分かった。ただし、Betting frame と Devotion frame の用例は 1 例ずつしかなかったことから、その

2 つのフレームを想起する場合はおおむね「賭ける」を用いることで使い分けられていると考えられる。また、何らかのスポーツや芸術、試合などの具体的な目標に託す思いを示す *Entrusting frame* は「懸ける」に特有のフレームであった。したがって、「懸ける」は「賭ける」と異なったふるまいをすることが、フレームから明らかになった。

#### 4.2. フレームからみる日中同形近義語への示唆

第 3 章では“risk”の中国語訳にあたる語を調査したが、なかでも“冒 危険”と“賭”はそれぞれ日本語の「危険を冒す」、「賭ける」と同じ漢字を用いた語であった。

“冒 危険”は、*Jeopardizing frame*、*Incurring frame*、*Daring frame* の 3 つのフレームを喚起する点、加えて *Jeopardizing frame* のとき *ASSET* には“生命”がくる傾向にある点の 2 つの特徴があった。これらは日本語「危険を冒す」に当てはまる。つまり、“冒 危険”と「危険を冒す」は日中同形同義語といっていよう。ちなみに英単語“risk”とも喚起するフレームが一致することから、“risk”の訳語として適しているともいえる。

一方、“賭”の結果を他言語とまとめると、以下の通りになる。(表 3 参照。)

表 3. risk と賭けると賭

	risk	賭ける	賭
Jeopardizing frame	○	○	○
Betting frame	○	○	○
Incurring frame	○	×	×
Daring frame	○	×	×
Devotion frame	×	○	○ (少ない)
Reliance frame	×	○	○
Choosing frame	×	×	○

全体的に「賭ける」と“賭”は似ているが、勝ち負けや、物事の状態を A か B かの二択でとらえ、そのどちらかを選ぶ意味を表す *Choosing frame* は“賭”に特徴的なフレームであったことから、2 語を完全な同義語とは言い切れない。このような日中同形近義語は、日本語母語話者が中国語を学習する際に混乱させるものであるが、フレームをみることによって相違点を理解することができる。

## 5. 結論

今回、日本語の「懸ける」、「～を覚悟で…する」、中国語の“冒…的危険”と“冒险干”、“赌”、“拼”のフレームを考察した。「懸ける」は「賭ける」と異なるフレームをもつこと、「～を覚悟で…する」は *Incurring frame* のみを喚起すること、“冒…的危険”と“冒险干”は「危険を冒す」と一致するのに対し、“赌”は「賭ける」と完全には一致しないこと、“拼”はどの語とも異なる特徴をもつことが明らかになった。調査した語はすべて辞書において“risk”の訳語として挙げられていたものだ。しかし、フレームをみれば一語一語に違いがあることが明確になる。言い換えれば、辞書で引いた訳語だからといって完全一致するわけではないのである。また、日本語と中国語では、同じ漢字を用いた語だからといって、意味やフレームも一致するとは限らない。このようにフレームを対照させて相違点を調査することで、外国語学習の一助にもなるといえる。今後、*risk* フレームだけではなく他の語について、たとえば日中同形近義語としてしばしば習得が難しいと言われている「緊張」「批評」「検討」といった語についても調査したい。

## 参考文献

- Fillmore, C. J. & Atkins, B.T.S. (1992) “Towards a frame-based organization of lexicon: The semantics of RISK and its neighbors.” In Lether, A. and E. Kittay (Eds.), *Frames, Fields, and Contrast: New Essays in Semantics and Lexical Organization*, Lawrence Erlbaum Associates. 75-102.
- Fillmore, C. J. & Atkins, B.T.S. (1994) “Starting where the dictionaries stop: The challenge for computational lexicography.” In B.T.S. Atkins and A.Zampolli(eds.), *Computational Approaches to the Lexicon*, 349-393. Oxford University Press.
- Ohara, K. H. (2009) Frame-based contrastive lexical semantics in Japanese FrameNet: The case of risk and kakeru. In Boas, H. C.(Ed.), *Multilingual FrameNets in Computational Lexicography: Methods and Applications*, Berlin & New York: Mouton de Gruyter. 163-182.
- 小原京子、長谷川葉子(2006)「Charles J. Fillmore 教授に聞く」『英語青年』9月号, 34-39. (Vol.152 No.6 pp.354-359)
- 辻幸夫編 (2013)『新編認知言語学キーワード辞典』研究社.
- 刘月华 (2007) 《实用现代汉语语法 (增订本)》商务印书馆.